

# (5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

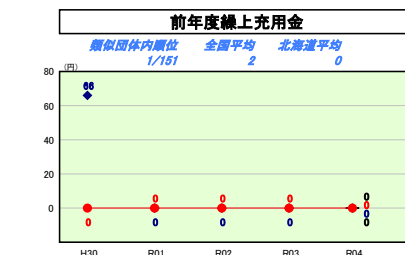
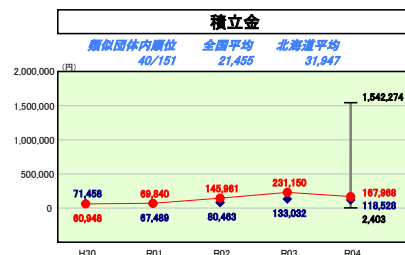
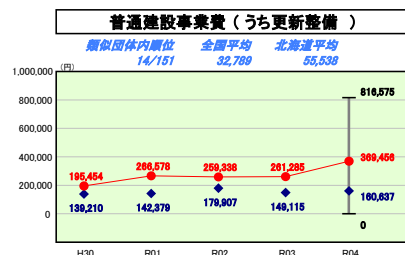
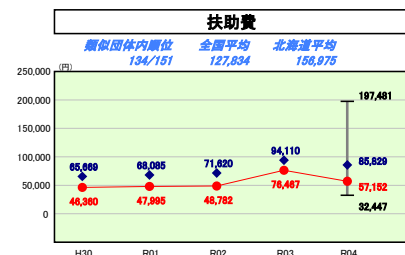
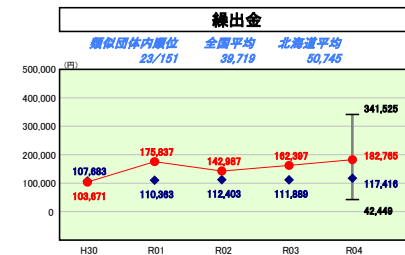
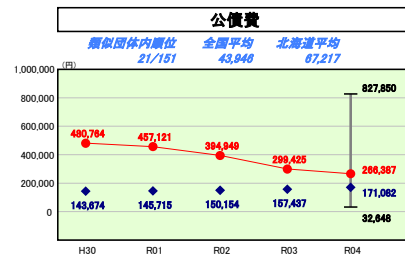
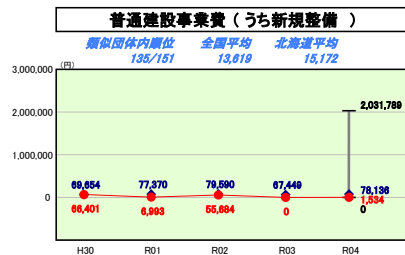
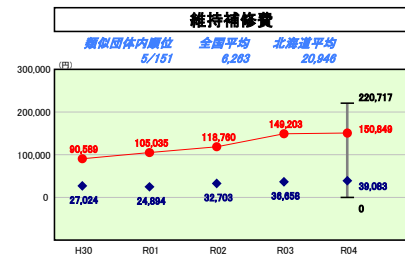
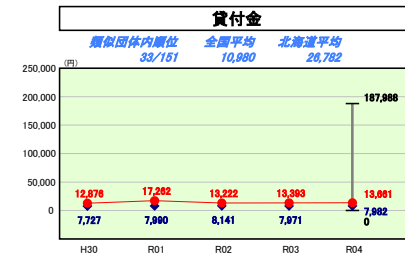
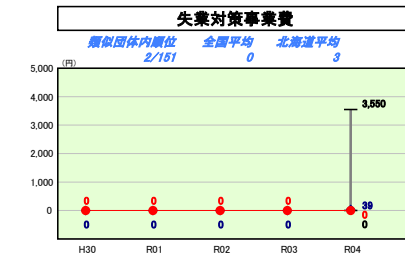
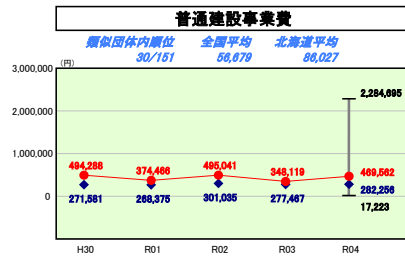
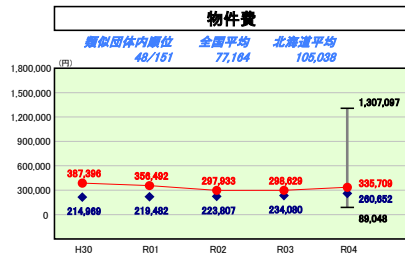
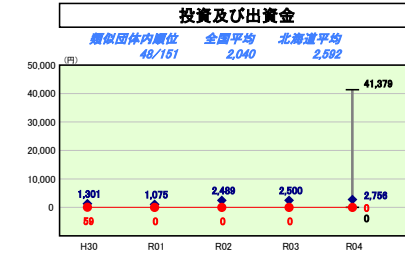
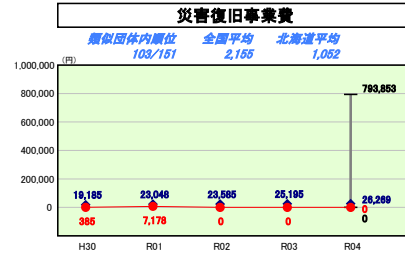
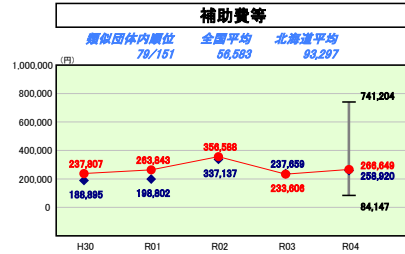
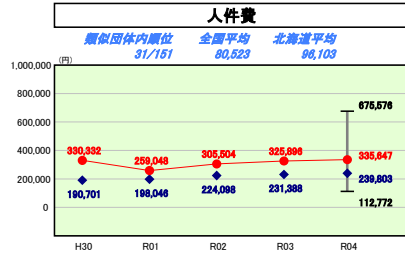
令和4年度

北海道概延町

人口	2,196人(05.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	2,171人(05.1.1現在)	通算実質赤字比率	-%
面積	574.10km <sup>2</sup>	実質公債費比率	4.8%
歳入総額	5,104,505千円	将来負担比率	-%
歳出総額	4,832,985千円	市町村類型	H30 I-O R01 I-O R02 I-O
実質収支	151,156千円	(年度毎)	R03 I-O R04 I-O
標準財政規模	2,828,492千円		
地方債現在高	3,122,104千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 性別歳出の分析

普通建設事業費は、住民一人当たり469,562円となっており、類似団体と比較して一人当たりコストが高い状況となっている。これは、間寒別地区農業用水道施設改修事業の実施等によるものであり、前年度決算と比較すると34.9%増となっている。しかし、当該事業は、令和8年度に終了する予定であり、それほど懸念すべき状況ではないと思われる。